

会 議 録 (要旨)

会議名	第3回瑞穂町教育基本計画審議会
開催日時	令和元年7月29日(月) 午後6時から午後8時まで
開催場所	瑞穂ビューパーク・スカイホール 小ホール
出席者及び欠席者	<p>教育基本計画審議会委員</p> <p>出席者：田中委員、悴田委員、石坂委員、池谷委員、中野委員、山宮委員、戸田委員、下田委員、鳥海委員、宮坂委員、岡田委員、石川委員、友野委員、佐久間委員</p> <p>欠席者：田村委員、沖委員、鈴木委員</p> <p>事務局：小峰教育部長、小熊指導課長、稲富統括指導主事、加藤指導係長</p>
報告事項	なし
審議会次第	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 第2次教育基本計画素案審議</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 説明</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 事前依頼した確認事項について</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) フェーズ3・1「豊かな心を育て、いのちや人権を尊重する態度を育む教育」について</p> <p>4. 事務連絡</p> <p>5. 閉会</p>
傍聴者	なし
審議経過 (主な意見等を原則として発言順に記載。同一内容は一つにまとめた。)	<p>次第1. 開会、田中会長から会議の公開、会議の成立、会議時間、についての説明が行われ、会議が進められた。</p> <p>次第2. 小峰教育部長挨拶</p> <p>次第3. 第2次瑞穂町教育基本計画素案審議</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 説明 小熊指導課長から、第2次瑞穂町教育基本計画の4つのフェーズについて説明を行った。瑞穂町教育委員会の基本方針と第2次瑞穂町教育基本計画の4つのフェーズ(階層)との関連、及びみずほっ子の教育目標と長期総合計画の整合性について審議依頼。</p> <p>[主な質疑応答]</p> <p>(田中会長) P26の前計画が第1次瑞穂町教育基本計画を指していることがわかりにくいため、記載方法の検討をお願いします。</p> <p>(田中会長) P26の図は長期総合計画の中に第2次瑞穂町教育基本計画があるということですね。</p> <p>(小熊指導課長) そのとおりです。</p>

(2) 前回の課題について 小熊指導課長から説明、人間力の向上については、全教育基本計画における人間力の理念は継承しつつ、学習指導要領に記載されている「生きる力」を育むものとして本計画に記載したい。また、フェーズ2を実現するための9つの方向性としてのフェーズ3について審議依頼。

[主な質疑応答] (「生きる力」については質問、意見等なし)

(俣田委員) フェーズ3・1の(2)にある別葉については、※印で別に記載したほうが良いのではないのでしょうか。

(戸田委員) フェーズ3・2の(2)のSDGsについて、持続可能な社会とはどのようなものをイメージしているのですか。また、主権者教育についてどのようなものなのか説明をお願いします。

(小熊指導課長) 持続可能な社会とは、以前は環境教育といていたもので、限りある資源や環境を有効に使い継続していくというものです。主権者教育とは、こどもが自立していくために必要な心構えや共生社会を作っていくという視点で考え教育していくものです。

また、プログラミング教育とは、新学習指導要領で小学校で取り組むことになったもので、コンピューターに指示をだすプログラミング等を通じてプログラミング的思考を身に付けるものです。

(田中会長) 全体的に専門用語が多いため、※注や用語集を作成するなど検討してください。

(宮坂委員) ものの大切さなどを教える観点はSDGsに含まれるのでしょうか。また、子どもたちが図書館や資料館などの公共施設を利用して学んだり、農芸高校と連携して学ぶなどみずほ学と関連させて計画に含めることで、今後計画を進めていくうえで瑞穂町ならではの活動ができるのではないかと思います。

(小熊指導課長) ものの大切さについてはSDGsに含まれています。また、みずほ学等についてはフェーズ4で図書館、資料館などを位置付けています。農芸高校との連携については計画に載せず、具体的な内容は各学校の校長が作成する教育課程に含めてもらう形としたい。

(佐久間委員) プログラミング教育は小学校だけですか。また、プログラミング的思考とありましたが、フェーズ3・3(3)に出てくる思考力とは関連はあるのですか。

(小熊指導課長) プログラミング教育は中学校にもありますが、これまで小学校にはなかったため、強調するため今回の計画にいれました。また、フェーズ3・3(3)の思考力とは学力向上に向けた全体的な思考力・判断力・表現力等を示します。

(田中会長) 教育基本計画なので、プログラミング教育の充実という言葉にすることで、小学校という括りはなくとも主旨は間違っていないので、検討してみてもどうでしょうか。また、英語教育の充実とは、学力の向上そのものではないのか、と言う指摘もあると思うのですが。

(小熊指導課長) フェーズ3・2で学力の向上とは別にまとめており、

グローバルに活躍する人材の育成には英語力の充実が必要であるところから、ここでクローズアップしています。

(戸田委員) フェーズ3・1の豊かな心やいのちを尊重とあるのは人に対してのもので、動物や自然など生きていくのに必要ないのちについては別に載せているのでしょうか。また、フェーズ3・2のプログラミング教育について、中学校も含まれるということなので「小学校からの」という言葉に変えてみてはどうか。英語教育については、学力向上と二重に載っているとのことでしたが、グローバルなコミュニケーションの一つとしての英語教育における会話の充実という事でここに載っていても良いのではないかと思います。

(小熊指導課長) 豊かなところは幅広いもので、ふるさと学習なども含まれてくるもので線引きが難しく、フェーズ3・1の内容が一番割合として高いと思われるため、ここに載せました。2点目のプログラミング教育についてはそのように変更します。

(田中会長) フェーズ3・1生活指導の充実とはどのようなことですか。

(小熊指導課長) 生活指導の根底には人権教育があり、相手の将来等を考えながら指導しなければ生活指導にならない。強い指導ばかりが行き過ぎないようにとの歯止めとして載せています。

(俣田委員) フェーズ3・3で集団生活に必要な能力とあるところを集団規律としなかったのはなぜか。また、(3)の「俯瞰させる」と言う言葉は難しいのではないか。3点目として、語尾の推進、充実などあるがその違いは。

(小熊指導課長) 集団規律でも問題ないため、文言の整理をします。2点目の「俯瞰させる」と言う文言は学習指導要領にもあるため使用しています。3点目の語尾については、充実はこれまでのものより強調していかなければならない、推進はこれどおり協力しながら進めていかなければならないという意味です。

(田中会長) フェーズ3・4に部活動の振興とあるが、働き方改革などの観点から、学校から部活動を切り離すということが検討されているが、振興とはどのような考えからか。

(小熊指導課長) 働き方改革の観点もあるが、部活動の意義としては大切なものがあると考え、人間性・社会性を育むものとして残して行きたいと考えます。

(池谷委員) 振興とは盛んにするという意味が含まれるため、練習時間の縮小などの現状から考えると苦しいのではないか。

(小熊指導課長) 振興という文言は、充実や推進などより弱いイメージの言葉として使用しました。

(田中会長) 明治以降、これまで青少年の体力育成は学校教育に頼りきっていた。それに代わる受け皿として、地域や社会でのスポーツを支援していかなければならない。計画に載せるのであれば、適切な社会体育の環境を整備するとして、その中に部活動が一部入ってくるの

は良いと考える。

(小熊指導課長) 検討します。

(田中会長) 読書活動の推進についてはどうでしょう。充実だと、学校教育の中での読書活動を充実させていくという印象で、推進だと子供の生活の中で進めていくという印象ですが、どのようなイメージでしょうか。子どもたちに読書を奨励すると言う感じでしょうか。

(小熊指導課長) 奨励というのが適切だと思います。学校では年間計画に位置付け努力してもらっているところです。充実だと、さらに努力をしてもらうことになってしまうため推進としました。

(戸田委員) フェーズ3・5について、「夢と志をもち」とあるが、内容の3点だけでは偏りがあり狭いように思われるため、夢や可能性を広げられるようなものがもう1点あればと思うのですが。

(小熊指導課長) P50をご覧ください。キャリア教育には基礎的・汎用的能力の育成や「人間関係形成・社会形成能力」、「課題対応能力」、「自己理解・自己管理能力」や「キャリアプランニング能力」の強化など、教科に対する横断的なものとなっており、幅広いものとなっています。

(田中会長) キャリア教育に注をつけて、P50のような説明をつければわかりやすのではないのでしょうか。

(俣田委員) フェーズ3・6のICT環境整備にだけ「更なる」がついているのは。

(小熊指導課長) ICT環境については整備しているところです、予算との兼ね合いもあるが、現状よりも推進させていくという意味合いです。

(俣田委員) 部活動の推進と部活動の負担の軽減は矛盾していると思うが、どのような意図か。

(小熊指導課長) 部活動の負担の軽減は矛盾することだが、中学教員の働きすぎの状況は解消されないため、あえてここに載せています。教員の負担を軽減させる方策としてP62に記載していますが、部活動の推進と負担の軽減の兼ね合いについては検討事項とさせていただきます。

(田中会長) フェーズ3・6(5)の就学・進学に関する援助とは金銭的なものか。

(小熊指導課長) 金銭的な援助です。

(俣田委員) フェーズ3・9(5)地域で輝く子どもの育成はこの位置でいいのですか。大きな視野で捉えるものなので。

(小熊指導課長) 位置を検討します。

(田中会長) 地域学校協働本部や、学校運営協議会など、学校関係者でないと関係性がわかりにくいと思います。

(3) フェーズ3・1「豊かな心を育て、いのちや人権を尊重する態度を育む教育」について 小熊指導課長からP36からP38ま

で説明、内容について審議。

[主な質疑応答]

(田中会長) P 3 7 (4) の学校の欄で、方針の策定や調査、報告などが書かれているが、一番重要な生徒の側に立った指導というような言葉が必要なのではないか。

(佐久間委員) P 3 6 (1) の人尊校は正式名称ですか。

(小熊指導課長) 略称なので訂正します。

(田中会長) 人尊校第6ブロック連絡会というものは、町の施策となるものですか。

(稲富統括指導主事) 西多摩の人権教育推進委員会があるため、そちらのほうで文言を検討します。

(戸田委員) P 3 8 (6) の4行目から6行目については、保護者の同意が得られない場合は、個別対応で別の指導を行うのですか。

(小熊指導課長) そのとおりです。原則として学習指導要領に基づく指導しかできないが、性に関しては様々な問題があり、それだけでは全てを教えることはできないため、校長の判断によりそれを超えて指導することができることになっています。

(戸田委員) P 3 8 (7) 人権教育には自然や動物やその他の生き物も含まれるとなっていたが、ここには文言として書かれていないため、もっと周りの生き物のいのちについても大切に育むなどの文言を含めてもらいたい。

(小熊指導課長) 人権教育については文言等について検討します。

次第4. 事務連絡 小熊指導課長から次回予定について説明。

次第5. 閉会、田中会長により閉会。

閉会 午後8時00分